

# 守口市工業実態調査 アンケート結果の概要報告

工場周辺の住環境向上のためにアンケート調査による課題抽出を行いました。

アンケートにご協力  
ありがとうございました。

## 工場事業者アンケート

### アンケート実施概要

対象者	市内の製造業全事業者 (従業員 1,000 人以上は対象外)
調査方法	ポスティングによる配布 訪問による回収
調査期間	配布 平成 23 年 10 月 4 日～10 月 19 日 回収 平成 23 年 10 月 20 日～11 月 10 日
配布数	916 件
回収数	645 件(回収率 70.4%)

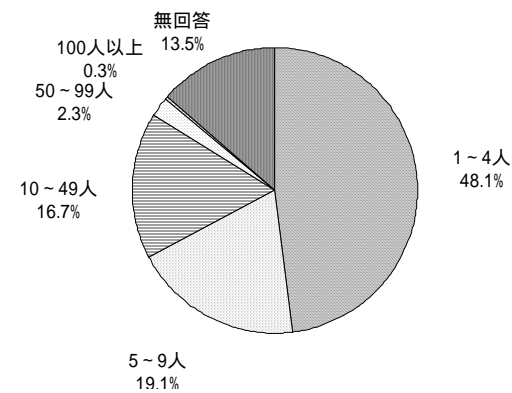
### アンケート結果の概要

- ・工場の敷地面積について、100 m<sup>2</sup>未満の事業所が 41.9%を占めています。1,000 m<sup>2</sup>以上の事業所は 6.5%で、42 箇所ありました。
- ・土地の所有形態は、借地している事業所が 60.0%ありました。
- ・工場を操業するにあたって、周辺の住民に配慮している事業所は、78.0%ありました。
- ・配慮している項目は、「騒音」が一番多く 35.0%、ついで「交通(道路をふさぐ等)」が 13.7%でした。
- ・住民から苦情を受けたことがある事業所は、14.7%ありました。
- ・工場移転を考えたり希望している事業所は、約 25%ありました。

## アンケート結果

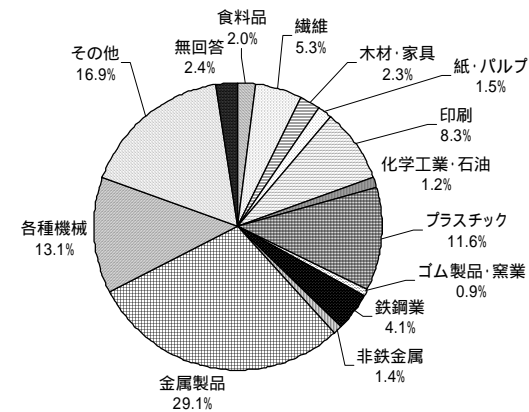
### 従業員人数別事業所数

5 人未満の事業所が約半数を占めています。50 人以上の事業所は 17 箇所ありました。



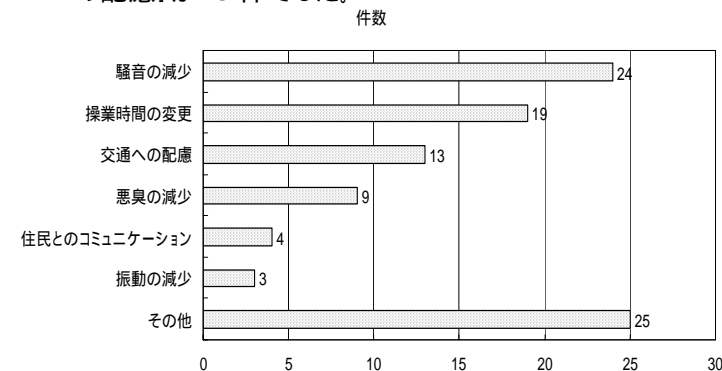
### 業種別事業所数

市内の製造業者で最も多い業種は、「金属製品製造業」で 29.1%、ついで「各種機械器具製造業」が 13.1%でした。



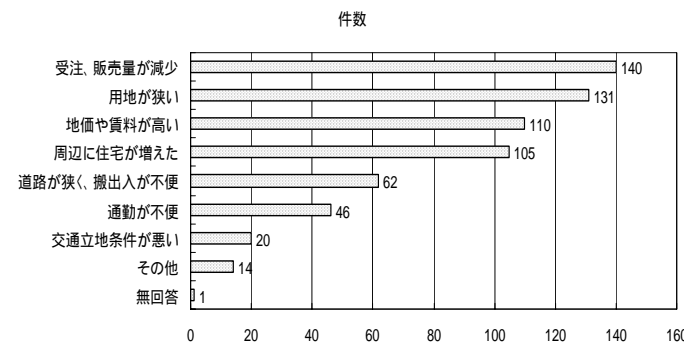
### 苦情への対応策

苦情を受けた際、具体的な対応策の主なもの、「騒音の減少」が 24 件、「操業時間の変更」が 19 件、「交通への配慮」が 13 件でした。



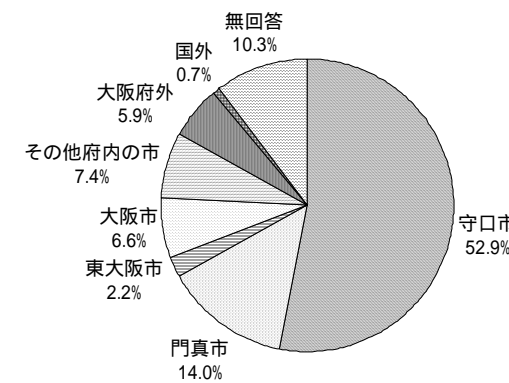
### 操業の不満項目

工場を操業するにあたって最も不満が多い項目は、「受注、販売量が減少している」でした。ついで「用地が狭い」と「地価や賃料が高い」が多く、工場用地に関する回答が多いことがわかりました。



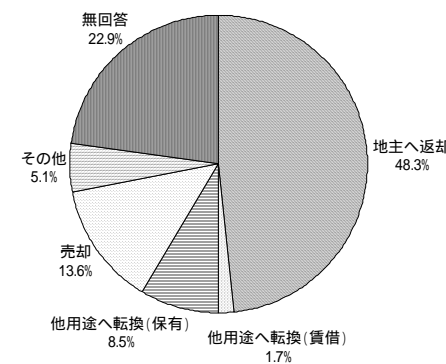
### 移転希望先

工場の移転先として最も多く回答があったのは、「守口市」で 52.9%を占めました。多くの事業者が市内での事業継続を望まれていることがわかりました。



### 跡地利用

工場移転の跡地については、「地主へ返却」が最も多く 48.3%、ついで「売却」が 13.6%でした。跡地の具体的な用途として、「マンション」「倉庫」などの回答がありました。



## 住民アンケート

### アンケート実施概要

対象者	工業系用途地域内の工場周辺にある住宅(戸建、集合住宅)
調査方法	ポスティングによる配布 郵送による回収
調査期間	配布 平成 23 年 10 月 12 日～10 月 20 日 回収 平成 23 年 10 月 12 日～10 月 31 日
配布数	3,000 件
回収数	855 件(回収率 28.5%)

### アンケート結果の概要

- ・20 年以上現在の住居に住んでいる方が半数以上で、9 割の方は、今後も住み続けると回答されました。
- ・約 4 割の方が周辺に「住環境に影響を及ぼす工場がある」と回答されました。しかし、「影響を及ぼす工場がない」と回答された方が半数以上あり、周辺に工場があっても住環境に影響がないと考える方が多いことがわかりました。
- ・「住環境に影響を及ぼす工場がある」と回答された方のなかで、苦情を言った経験がある方は、21.2%ありました。そのうち、約 6 割の方は、「工場の対応があった」と回答されています。
- ・周辺の工場については、「今のままでよい」と「工場が増えてもよい」と回答された方が 4 割以上あり、「悪影響を与える工場はなくなった方がよい」と回答された方を上回りました。

【 発 行 】

守口市 市民生活部 産業労働課

〒570-8666

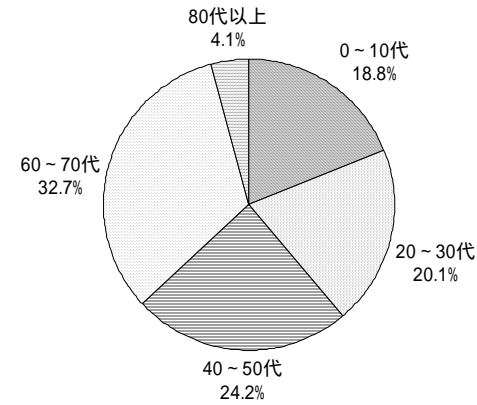
大阪府守口市京阪本通2丁目2番5号

電話 06-6992-1490(直通)

## アンケート結果

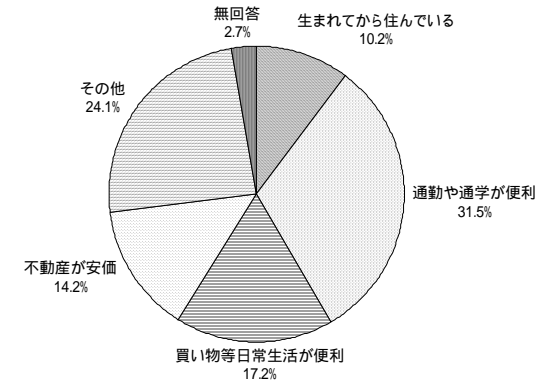
### 回答者の家族

回答者のご家族の人数を年代別に集計しました。今回の調査範囲では、60～70代の方が最も多く居住されていました。



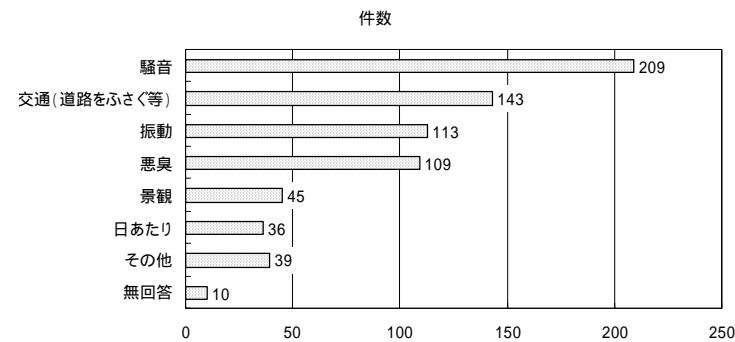
### お住まいの理由

お住まいの理由で最も多いものは、「通勤や通学が便利」が31.5%でした。ついで「買い物等日常生活が便利」が17.2%でした。



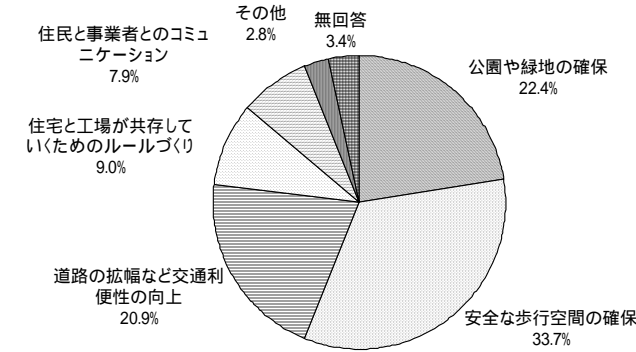
### 住環境に影響がある項目

お住まいの周辺で住環境に影響を及ぼす工場があると回答された方のうち、その要因として、最も多かった項目は「騒音」209件で、ついで「交通(道路をふさぐ等)」143件と「振動」113件でした。



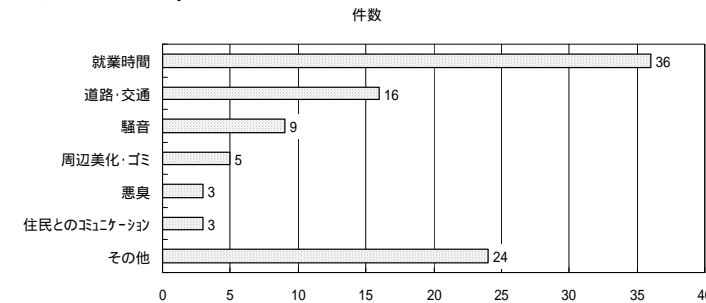
### 住環境の向上

住環境の向上を図るために必要と思われる項目については、「安全な歩行空間の確保」が最も多く33.7%、ついで「公園や緑地の確保」が22.4%、「道路の拡幅など交通利便性の向上」が20.9%でした。



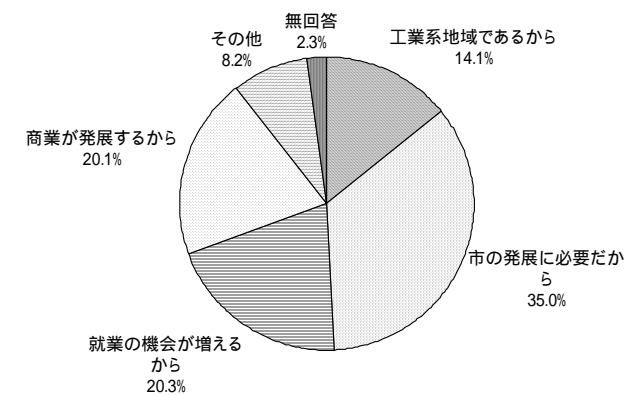
### 住民と工場の共存

上の質問で「住宅と工場が共存していくためのルールづくり」を選ばれた方は、その内容として「就業時間」、「道路・交通」、「騒音」に関するルールづくりを多くあげられました。



### 工場があってもよい理由

「工場が今のままか増えてもよい」と回答された理由は、「守口市の発展に必要なだから」が最も多く35.0%、「就業の機会が増えるから」が20.3%、「商業が発展するから」が20.1%と続きました。



### 今後の課題

#### 操業環境整備について

約4割の住民の方は周辺に「住環境に影響を及ぼす工場がある」と回答しています。このため、既に住宅地化しているか、あるいは今後、住宅地化が進行する傾向がある地域等においては、新たな土地利用方針の検討などが求められます。

工場移転跡地の用途転換先としては、マンションなどがあげられており、住宅地化が進行する可能性があることから、工業用地を確保していく必要のある地域では、土地利用制限などの対策が求められます。

工場の移転先としては、「守口市」が半数以上で、交通の利便性なども支持されており、工業用地としての利用価値が高いとの評価をされています。このことから、新たに生じた遊休地については、工業用地として検討する等の方策が有効であると考えます。

土地や建物を借りている事業者が多く地価や賃料が高いことが、工場の操業上の問題となっています。このため、集合型工場の整備を行う等、比較的安価な賃料で操業環境を確保できる方策等について検討が求められます。

#### 住環境整備について

住民に影響を及ぼしている項目としては「騒音」、「交通(道路をふさぐ等)」、「振動」などがあげられていることから、工場から発生する騒音や振動を軽減するための取り組みが求められます。

4割弱の方が「悪影響を与える工場はなくなったほうがよい」と回答しており、住工混在の問題が存在しています。このため、移転を希望する事業者については、市内の工場の集積地への移転を促す等の取り組みが求められます。

住民の要望としては、「安全な歩行空間の確保」や「道路の拡幅」など、主に道路に関するものが多く、物資の搬出入時に道路を専用してしまうことなどに対する不満が多いと見受けられます。このため、生活道路として安全で使いやすい道路整備の取り組みが求められます。

その他、住民の要望としては、「公園や緑地の確保」が多くあげられていることから、緑化を推進する取り組みが求められます。

#### 住民と事業者の相互理解促進

事業者は住民とのコミュニケーションについて配慮しており、住民も「住宅と工場が共存していくためのルールづくり」を要望しています。このため、「就業時間」、「道路・交通(物資の搬出入)」などについて、住民と事業者との話し合いやルールづくり等を促進する取り組みが重要と考えられます。

住民と事業者とのコミュニケーションが必要であるとの意見が多くあげられています。このため、住民と事業者の相互理解を深めるため、工場見学等、イベントの開催を促進する等の取り組みが必要と考えられます。

#### 企業と住民が共生できる環境づくり

回答者のご家族は、60～70代の方が最も多く、工場周辺地域でも高齢化が進んでいます。将来の担い手の確保は、重要な課題であり、若い世代の定住化の促進を図る取り組みが求められます。

工場があってもよいと回答された方の理由としては、市の発展に必要なだからとする回答が多く見受けられました。また、多くの住民は、現在の住居に長くお住まいで、近い将来に転居の予定のある方は、少数にとどまりました。このことから、企業の積極的な誘致や市外流出の防止を図るとともに、「企業と住民が共生できる環境づくり」に向けた取り組みが重要と考えられます。